

「土の絵本」全5巻が産経児童出版文化賞を受賞

産経新聞社は我が国における優れた児童書籍の刊行を奨励する目的で、1954年（昭和29年）から産経児童出版文化賞を授与している。ちなみに、第1回目にはサン・テクジュペリの「星の王子様」を翻訳した絵本も受賞している。今回は50回目の授与であり、2002年の1月から12月に我が国で刊行された児童書籍3950点の中から、優れた書籍20点に産経児童出版文化賞が授与された。上位10点には最優秀の大賞を始め、賞が授与された。他の10点は「推薦」として入賞し、日本土壌肥料学会の「土の絵本」も入賞の榮譽に浴した。

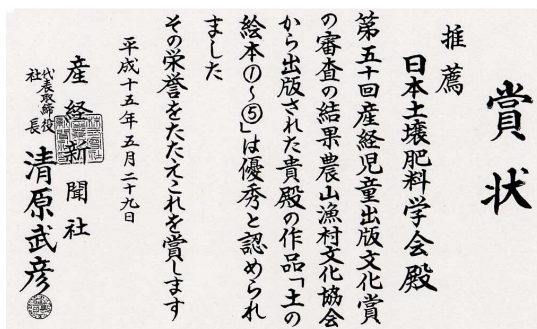
2003年5月5日の産経新聞朝刊で受賞作品が公表され、5月29日に授与式が秋篠宮妃殿下ご臨席の下に東京で挙行された。作者として日本土壌肥料学会、出版社として農文協がともに表彰され、賞状と記念の盾を頂いた。日本土壌肥料学会からは「土の絵本」の編集委員長の西尾前会長と、編集幹事の田村前土壌教育委員会委員長が出席した。

学会が児童向けの絵本を刊行すること自体大変少ないが、このような出版文化賞を受賞した学会は日本土壌肥料学会が初めてである。

授与式の後の記念パーティにおいて、妃殿下から、大人向けの本を書くよりも大変だったでしょう、落ち葉からの堆肥作りは参考になりましたなどのお言葉を頂いた。

大切だが、地味なテーマである「土」について、日本土壌肥料学会の専門家が蓄積している知識と写真などを総動員し、絵本作家の優れた挿し絵も加わって、分かりやすく、美しいカラーの本に仕上がり、子供達に身近な土の大切さを理解させると同時に、自然を科学する心を養成する内容になっていることが評価されたと理解される。

これを機会に「土の絵本」が子供達にさらに読まれ、子供達の「土」に対する関心と認識が高まることを期待したい。



賞状



盾